

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 31 日

事業所名 ミライムキッズアカデミー福島旭町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2	職員の配置数は適切である	5		規定より加配を付けて、丁寧な支援を心がけている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		パーテーションを利用したの構造化を行っている。バリアフリーは部分的にさせている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		朝夕に片付けや消毒を行っている。また、適宜換気を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		朝夕にミーティングを行い、業務改善や振り返りを行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者会やアンケート調査を通じて意見を集め、改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		zoom研修を実施。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		マンネリ化しないように多種多様なプログラムを考察している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		その日の利用児の特性に合わせたプログラムを日々検討している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝のミーティングで実施。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		夕方のミーティングで実施	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		ネットワークを通じて日々の様子をお知らせして、安心に繋げている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5		医療的ケアが必要な利用児なし。利用がある場合は環境を整える。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5		医療的ケアが必要な利用児なし。利用がある場合は環境を整える。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		放デイと連携、交流している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		サポートシートを通じて情報を共有している。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		利用児の特性上難しいため、外部講師を呼んでいる。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		コロナ禍で行えていないが、経営者同士で話し合いが行われている。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		相談がある際は、いつでも個別で対応している。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5		保護者会や茶話会を行っている。	
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		月刊ミライムで発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		写真掲載については保護者の同意書を得ている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		連絡メールやボードでの情報共有。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		講演会や外部講師
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		避難場所まで実際に歩いてのルート確認や、定期的に行われている防災訓練。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		全体で共有し、注意事項に記入している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		他教室ともそれぞれの事例を共有して。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 ミライムキッズアカデミー福島旭町教室 保護者等数(児童数) 14 回収数 11 割合 78 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	5	4		1	狭いように思われるが、先生方が工夫して活動を行ってください。	
	2	職員の配置数や専門性は適切である	9			1	職員説明プリントがあると良い。顔写真付きだと新規利用の方も安心できると思う。また、放デイからの応援の職員さんの同じく説明プリントがあると良いです。(名前、資格等)	お便りや保護者会などでスタッフの紹介を行っていききたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10				視覚優位の空間になっており、分かりやすいです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9			1		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	10				双子を通所させているが、一人ひとりに合わせた計画が作成されていると思います。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			1	家での子どもに適した過ごし方のアドバイスも頂けて、とてもありがたかったです。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	10					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	1	7	保育所や認定子ども園、幼稚園等に通っているお子さんも併用しているため、機会がないとはいえないと思う。	
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	10					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	10				面談の時に、しっかり説明を受けることができています。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	7	2		1	コロナ禍で実施が難しくなっていると思うが、ペアトレしていききたいです。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	9	1			モニタリングの時にしっかり教えて頂いています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われている	10				先生方がとても気さくなので、とても相談しやすいです。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ている	7	2	1		コロナ禍で開催機会が少ないのが残念です。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や 申入れをした際に迅速かつ適切に対応され ている	10				・いつも親身に相談にのって頂いています。 ・玄関でスムーズな流れを大事にされているので、ちょっとした相談などをす るのが難しいというか、メールやお電話するのも忙しいのに申し訳ないか な、と思う事があります。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされている	10				個人ページの連絡機能で文章や写真が送信できて充実している。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されている	10				毎回、利用の様子を写真と文章で報告いただくので、安心してお任せしてい ます。	
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	9			1		
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、保護者に 周知・説明されている。また、発生を想定し た訓練が実施されている	9			1	災害発生時の避難先と連絡先(先生のホスト)を教えてください。また、 散歩の時間を利用して避難先まで歩く練習もされているようです。	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われている	9			1		
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	10				とても楽しみにしており、慣れてきた様子なので通所を増やしたいです。	
	23 事業所の支援に満足している	9			1	子どもが楽しめるように支援も遊びを通していたり工夫されていることに満足 しています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。